

# 令和 3年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：農業ビジネス支援課  
 担当名：販売対策・6次産業化担当  
 内線：4107 (単位：千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業		
B13	埼玉農産物輸出総合サポート事業		一般会計	農林水産業費	農業費	食品流通対策費	海外新規販路対策事業費		
事業期間	平成27年度～ 令和 7年度	根拠法令	農林水産物及び食品の輸出の促進に関する法律			宣言項目	09 儲かる農業の推進	SDGsゴール	
					分野施策	040937 強みを生かした収益力ある農業の確立	SDGsターゲット		
1 事業概要			5 事業説明						
<p>世界的な日本食ブームの広がりや、アジア諸国での経済成長、人口増加により、需要増加が見込まれ海外での商機が増している。</p> <p>県産農産物の新規販路を開拓するため、輸出を志向する生産者団体等との情報提供・交換等や、輸出先国でのフェア・商談の実施、輸出のニーズに対応した段階に応じた輸出支援を行い県産農産物の輸出力の向上を図る。</p> <p>(1) 農産物輸出推進事業 △702千円                      新型コロナウイルスの影響での事業中止による減</p> <p>(2) 狭山茶輸出販路拡大事業 △148千円                      新型コロナウイルスの影響での事業中止による減</p> <p>(3) GFPグローバル産地づくり推進事業 △2,442千円                      補助金交付決定額が見込みを下回ったことによる減</p>			<p>(1) 事業内容</p> <p>ア 農産物輸出推進事業 2,890千円                      埼玉農産物輸出促進協議会を運営し、輸出に関するセミナー、研究会による情報提供などを行い、県産農産物の輸出促進を支援する。                      併せて、海外でのプロモーションや商談会へのバイヤー招へいを実施し、県産農産物の海外販路開拓・拡大を支援する。</p> <p>イ 狭山茶輸出販路拡大事業 4,530千円                      欧州への狭山茶輸出を拡大するため、フランスにおいて狭山茶のPRや商談を通じて、継続的な販売につながる販路を確保する。</p> <p>ウ GFPグローバル産地づくり推進事業 10,000千円                      輸出相手国のニーズや規制等に対応したグローバル産地の形成を進めるため、計画策定、生産・加工体制等の取組を実施する生産者団体を支援する。</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア 埼玉農産物輸出促進協議会の運営、農産物輸出関連情報の提供及び研修会、農産物フェア・商談会の開催</p> <p>イ フランスにおいて狭山茶のPRや商談の実施</p> <p>ウ 輸出相手国に対応した取組を実施する生産者団体等の支援 1団体</p> <p>(3) 事業効果</p> <p>H29:輸出新規品目7品目 H30:輸出新規品目5品目                      R1:輸出新規品目5品目 令和3年度見込み：輸出新規品目の増加 2品目</p> <p>(4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況                      ジェトロ埼玉、農協、マーケティング研究機関、国内外の商社等と連携し、効果的な事業実施を図る。</p> <p>(5) その他                      狭山茶魅力発信型輸出促進事業の継続を本事業の(2)狭山茶輸出販路拡大事業として組みなおした。</p> <p>(6) 補正予算の概要</p> <p>ア 新型コロナウイルスの影響による事業中止等による減額</p> <p>イ 国庫補助金交付決定額が見込みを下回ったことによる減額</p>						
2 事業主体及び負担区分									
<p>(1) (県10/10)</p> <p>(2) (県10/10)</p> <p>(3) (国10/10) 事業者負担なし</p>									
3 地方財政措置の状況									
なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員									
9,500千円×1.5人=14,250千円									
			財 源 内 訳				一般財源	補正後の 予算額	
予算額		国庫支出金	諸収入						
決定額	△3,292	△2,442					△850	14,128	
現計額	17,420	10,000	1,000				6,420		